



インガラバー

NPO法人
**日本・ミャンマー
 医療人育成支援協会**
 〒700-0811
 岡山県岡山市北区番町2丁目6番7号
 TEL:086-224-0102
 URL:http://www.mjcp.or.jp

6月25日に総会



医療人育成支援協会」の第6回総会が6月25日(土)夕、岡山市中区浜の岡山プラザホテルで開かれます。

午後4時30分からの総会では2010年度の事業と決算を報告し、11年度の事業計画案と予算案を審議します。

パフフルートを手にした制作・演奏家の今井勉さん

パフフルートの演奏、聴きませんか

NPO法人「日本・ミャンマー

医療人育成支援協会」の第6回総会が6月25日(土)夕、岡山市中区浜の岡山プラザホテルで開かれます。

午後4時30分からの総会では2010年度の事業と決算を報告し、11年度の事業計画案と予算案を審議します。

パフフルートを手にした制作・演奏家の今井勉さん

このあと6時30分から懇親会を予定しています。希望者のみですが、会員外でも参加できます。会費は男性5千円、女性3千円。



クリニックを前に現地スタッフと記念撮影。前列中央で感謝状を手にした半そでシャツ姿が筆者＝ヤンゴン市郊外

去年秋のことです。旧知の木股敬裕岡山大学教授から「ミャンマーに行くと誘いがありました。私は口腔外科の医師ですが、もう3年間、臨床の現場から離れていて全く自信がないのに「ミャンマーに行き手術の手伝いはできるかもしれない」と思ったのです。こんな会話から、クリニック建設、寄贈のプロジェクトがスタートしたのです。

さらに3月20日からもクリニックの建築状況を見るのと中間検査のため、現地入りしました。この時は東日本震災の影響でヤンゴン国際空港に到着後、入国審査前に日本人旅行者のみ放射線汚染の検査があり、驚きました。

そして5月23日の贈呈式。岡コンの池田修社長や協会の岡田理事長らと出席しました。この地区2万8千人の中心的診療所となるだけに、ヤンゴン市当局の幹部らが祝辞を述べました。私はその人たちを前にこう挨拶をしました。



完成した産院。右奥が下野クリニック＝ヤンゴン市郊外

「高乳幼児死亡率改善など、ここが保健福祉の中心施設になることを祈念します。」

乳幼児死亡率の改善へ

岡コン50周年 クリニック贈る

ミャンマー最大都市のヤンゴン郊外に、岡山コンクリート工業(略称岡コン、岡山市東区藤井)の設立50周年記念事業の一ときわ、岡コンクリニックが完成。5月23日の贈呈式に参加した永山久夫・協会理事が報告します。

岡山プラザホテル社長
 協会理事 永山久夫

その後、木股先生から岡田茂理事長を紹介され、この協会の存在を知りました。またミャンマーでは乳幼児死亡率が高いことも教えて頂きました。そこで、岡山プラザホテルのグループ会社の岡山コンクリート工業設立50周年記念に、ミャンマーへ医院を寄付することは国際貢献にもなるふさわしい事業と考えました。

話は着々と進み、今年1月9日に岡コン関係者らと初めてミャンマーへでかけました。

私自身、12日にヤンゴン総合病院の形成外科・口腔顎顔面外科の手術室へ入り、木股先生の手術介助をさせていただきました。3年ぶりの臨床体験でした。

協会の働きかけでミャンマーにつくられた医療施設の第1号「下野クリニック」に産院ができ、3月15日に産院ができ、3月15日に贈呈式がありました。

ヤンゴン市幹部から祝辞

「高乳幼児死亡率改善など、ここが保健福祉の中心施設になることを祈念します。」

待望の産院が完成

ヤンゴン郊外 下野クリニック

贈呈式がありました。同クリニックが協会理事の備前市木谷、病院長下野國夫さんの寄付によって、ヤンゴン市郊外にできてから3年。医師、看護師ら10数人が、この地区7万5千人の医療を担っています。

「高乳幼児死亡率改善など、ここが保健福祉の中心施設になることを祈念します。」

「高乳幼児死亡率改善など、ここが保健福祉の中心施設になることを祈念します。」

大震災
義援金

ありがとうございました

45件、52万余円集まる

協会員の皆さんに、未曾有の大災害となった東日本大震災の義援金を呼びかけたところ、45件、52万4040円が寄せられました。これに協会からの5万円を合わせ、5月19日、山陽新聞社会事業団に寄託しました。

ご支援くださったのは次の皆さん。(敬称略、順不同)

武田和久、森昭胤、井上助夫、小谷三郎、大萩順蔵、大森好美、森本接夫、野崎明、木村文昭、下野國夫、西山堅、

協会からも5万円

佐野弘美、西崎武芳、林健次、木村一雄、野村博、田中康弘、中西忠彦・敏子、秋本眺久、黒田延子

米田弥寿雄、小出やよい、田淵浩介、尾島玲子、多田廣祠、森本美代吉、西崎建策、荒木富美子、岡田直子、ロッギ、井山明、植原数夫、箱守玲香、光藤新、小林東夫、吉武徹、岡崎俊弘、平野紀雄、栢野温子、品川美和子、足立孝子、小林幸子、光南台クリニック、坂田俊輔、岡田茂



岡山大学で研修中のタ・テ・サン医師

タ・テ・サン医師から礼状

5か月にわたって岡山で研修したミヤンマーのタ・テ・サン医師(32)からお礼の手紙が届いたので紹介します。

私は2010年9月から2011年2月にわたって

分子病理学の技術と消化器病理の勉強をするために岡山で過ごしました。期間中、岡山県の岡山発国際貢献活動推進事業から奨学金をいただき、この日本・ミヤンマー医療人育成協会がその活動をすべて支えて下さいました。

最初の2カ月は岡山大学病院総合診療内科(小出典男教授、協会副理事長)の研究室で分子病理学の研究の基礎となる技術についての勉強をしました。次いで岡山済生会総合病院病理検査室(能勢総一郎部長)で1ヵ月半、消化器病理に絞って学びました。ここでは内視鏡(胃カメラ、大腸ファイバー)で得られた病理標本を数多く見る事ができました。日本は内視鏡が非常に盛んです。

技術は非常に向上

最後に岡山協立病院病理部で3週間勉強しました。ここでは病理検査室の日常業務と消化器病理、これにピロリ菌(胃炎、胃潰瘍、胃がんの原因)の

検出法も含めて勉強しました。

私は当協会の理事長でありこの研修のプランを作ってくださった岡田茂先生、岡山大学の原野昭夫先生、済生会病院の浜家一雄先生と協立病院の豊田博先生と両病院のスタッフに厚くお礼申し上げます。私の技術は非常に向上しました。先生たちは多くの経験を持ち、大変親切なばかりではなく、何年にもわたって築き上げた知識を惜しげもなく授けてくださったからです。スタッフの勤勉さ、仕事の流れのよさ、組織的で学問的な職場環境などは、私の研修中に最も私が魅力的に感じたものです。

得た知識を人々に

5か月滞在という期間にはホームシックを感じさせる程の時の流れです。多くの会員、なかでも西山央子理事、河原聖子さん、赤木日出夫さん、岡山県庁国際課や国際交流協会のスタッフ、玉野市でホームステイ提供してくださった家族の方々の心遣いにより、とても慰められました。

私の研修が成功裏に終わったのは多くの岡山の人たちの親切さのお陰です。この研修で得た知識や日本人の職場における良き慣行をミヤンマーの人々に伝えていきたいと思えます。

広報室から



4月24日に福山御幸町下岩成、あかね動物病院棟で、協会福山支部の開設式を行いました。福山近辺の会員をはじめ理事や報道関係者など約40人の参加者がありました。写真は、式では木股敬裕理事が実際に

灯火を隣人へ

ミヤンマーで医療支援をした体験談を披露し、みんなの関心を集めました。

現在の会員全体の3分の1を備後地域の会員が占めており、新たに拠点を設けることで活動の幅を広げたいと思っています。私たちの会の活動は、派手な活動ではありませんが、着実に会員数を増やしており、これも皆様のお陰と感謝しております。

しかし、まだまだ多くの人に活動内容をPRし、賛同者を増やしていかなくてはなりません。会報やパネル展などの催しを通じて広報に努めておりますが、今ひとつ物足りなさを感じております。ぜひとも、皆様方のお力をお借りしたいと思います。あなたの知っているミヤンマーのことやこの会の活動をお友達に紹介していただければませんか。

あなたの手燭(てしよく)の灯火を隣人の手燭に点火していくように、ひとつずつ灯火を増やしていけば、いずれ大きく明るい灯火になるでしょう。その灯火が、ミヤンマーにとどまらず世界を照らす日が来るに違いありません。

(理事 西山照子)

今年も募金と文房具寄せる



岡山理大附中・高校
インターアクト・クラブ

協会だより

ミヤンマーの支援に役立ててほしいと岡山市北区理大町、岡山理科大学附属中・高校の「インターアクト・クラブ」が3月15日、現金1万2215円と段ボール2箱分の文房具などを協会に託しました。

高校2年の土居万里子さんや陸山愛海さんらクラブ員6人は、去年11月の同校学習発表会でミヤンマーについてのブースを設け、その後も教職員室のわきに募金箱を置いて協力を呼びかけました。

同クラブは去年も募金と文房具などを寄せています。

今回は岡田茂理事長が学校へ出向いて受け取り、写真、生徒や先生たちに直接、お礼を述べました。

福山支部相談役に
藤井、鳥枝両氏

福山支部の相談役にし藤井金次郎氏(株式会社フジイ精密代表取締役)と鳥枝信雄氏(歯科医師)が就任いたしました。支部の活動について助言をしてもらいます。

募金4万1千円を
岡山北西ロータリー

岡山北西ロータリークラブ(川西熊雄会長)は3月15日、4万1千円を協会に寄せました。去年12月の例会で、会員にミヤンマー支援を呼びかけて集めたという、2度目の寄託です。